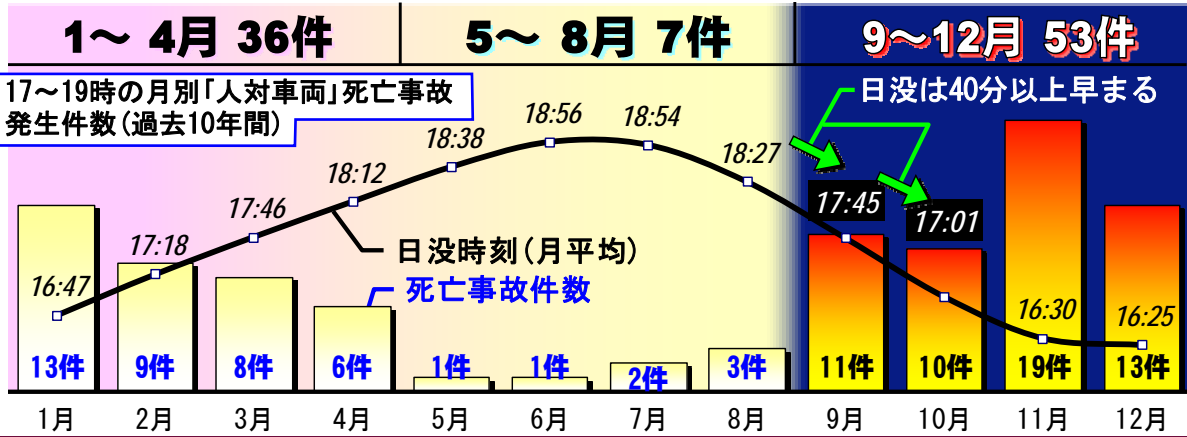


～ 薄暮時の歩行者事故防止 ～

17～19時 9月以降薄暮時に歩行者の死亡事故が急増

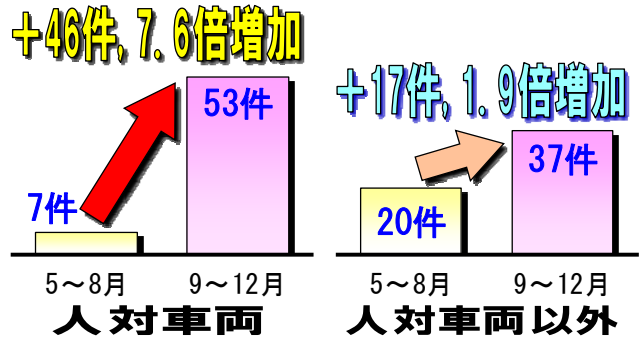


9月、10月は前の月に比べて日没時刻が40分以上も早まり、日没後は急速に暗くなります。
薄暮時(17～19時)に歩行者が死亡する交通事故も、日没時刻が早まる9月以降、急増しています。

※1 平成25年～令和4年(10年間)の17:00～18:59に発生した「人対車両」の死亡事故96件の分析結果
2 「日没時刻」は国立天文台資料(令和4年水戸の時刻)で、各月の平均値

「5～8月」と「9～12月」の4か月比較

17～19時	4か月比較		増減	
	5～8月	9～12月		
死亡事故総件数	27	90	+63	
事故類型	人対車両	7	53	+46
	人対車両以外	20	37	+17



「5～8月」と「9～12月」の4か月で比較すると、「9～12月」の死亡事故の総数は+63件と増加、特に「人対車両」が+46件、7.6倍も増加しています。

薄暮時・夜間は運転者も歩行者も注意が必要です

- 運転者の方は**
- ライトの早め点灯で、歩行者等に自分の車の接近を知らせましょう。
 - ハイビームの積極的な活用で、道路の先まで見通し、歩行者等の早期発見に努めましょう。
 - **横断歩道は歩行者優先です。**横断しようとしている歩行者等がいるときは、止まって道を譲りましょう。

- 歩行者の方は**
- 反射材を身につけ、夜間視認性の高い白系の服を着るなど、車の**運転者に自分の存在を知らせる**工夫をしましょう。
 - 走行車両直前の横断等、無理な横断は避けましょう。
 - 横断するときは、車の運転者に対して手をあげるなど意思を表示し、車が止まるのを確認してから横断しましょう。